

## バイチャイ橋（ベトナム）でのフレシネーステークーブルの架設

ベトナム社会主義共和国クアンニン省ハロン市内にて施工が行われているバイチャイ橋建設工事は、総延長約 10km、BC1、BC2、BC3 の 3 工区に分かれた日本の ODA によるプロジェクトである。このうちバイチャイ橋は BC2 工区に位置する橋長 903m、幅員 25.3m、中央支間長 435m、全高 137.5m、パイロンの高さ 90m の 1 面吊り PC 斜張橋である。この中央支間長は、1 面吊り PC 斜張橋としては世界一を誇る。橋脚及びパイロンの断面形状は中空八角形断面の 1 本柱形式である。パイロンの基礎とバイチャイ側 P2 橋脚の 3 箇所には、ニューマチックケーソンを採用している。桁下空間はハロン湾（世界遺産）への船舶の航行を考慮して 50m としている。

斜材の緊張は FI 社が開発した Isotension 方式によりデッキ側より緊張されている。シースは雨や風による振動を抑制するリブがらせん状についた HDPE（高密度ポリエチレン）ダクトを使用している。PC 鋼材は垂鉛メッキ仕様の PC 鋼より線 15.7mm にワックスが塗布され、その上から黒色的高密度ポリエチレン (HDPE) 被覆で覆われた 3 重防食仕様のストランドを使用しており、斜材は 2005 年 12 月で 16 段が完成している。斜材に使用されているストランドの本数は 37～75 本である。



バイチャイ PC 斜長橋  
(2005 年 12 月 FKK 撮影)

### 発注者

ベトナム社会主義共和国 運輸省 第 18 工事管理局

### 設計・監理

(株)日本構造橋梁研究所、(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル、TEDI、HYDER  
共同企業体

### 施工（橋梁部分）

清水建設（株）・三井住友建設（株）共同企業体

### 工期（橋梁部分）

2003 年 8 月 1 日～2006 年 11 月 30 日（40 ヶ月）